



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 桑井 哲也 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	191,832	0.6	28,208	△18.6	24,216	△22.6	14,524	△18.0
24年3月期第2四半期	190,718	16.3	34,632	5.9	31,291	11.1	17,712	△3.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △2,363百万円 (－%) 24年3月期第2四半期 △5,222百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	76.49	—
24年3月期第2四半期	93.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	655,942	345,995	52.7	1,820.85
24年3月期	692,520	352,537	50.9	1,855.25

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 345,740百万円 24年3月期 352,272百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	17.00	—	22.00	39.00
25年3月期	—	22.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	6.0	60,000	△4.8	58,000	△2.0	34,000	40.7	179.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

・年間想定レート；1ドル＝80円、1ユーロ＝105円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）ギャンブロ, Inc.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	189,880,260株	24年3月期	189,880,260株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,890株	24年3月期	1,067株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	189,878,729株	24年3月期2Q	189,880,663株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）における世界の医療市場を概観すれば、欧州では財政緊縮策の下で各国の医療費抑制策が一層厳しさを増しており、米国においても、いわゆる「財政の崖」への対応を巡る議論において公的医療保険への歳出削減策が議論されています。また、我が国においても2010年度の国民医療費が4年連続で過去最高を更新し続けています。こうした状況から先進国においては医療経済性の高い医療機器へのニーズは拡大し続けています。

一方、新興国では、慢性疾患の患者数が2億6,000万人を超えるとされる中国でこのたび、衛生省をはじめとする15の省庁が初めて共同で国家レベルの総合予防・対策計画を定めており、今後、同分野への積極的な投資が見込まれます。また他の新興国でも生活水準の向上に伴い、同様に慢性疾患患者の増加が見込まれています。

このように世界の医療市場では、当社グループの強みを活かせる成長機会が広がりつつあります。

当社グループにおいては、心臓血管領域事業が国内では薬価公定価改定の影響により、収益に一定の影響を受けましたが、海外では引き続き現地通貨ベースで着実に業績を伸ばしました。血液システム事業は第1四半期の特殊要因の影響が解消し、回復に向かいつつあります。ホスピタル事業では、DM事業が引き続き堅調に推移しました。

当社グループでは現在、「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、前期から3カ年の中期経営計画を推進しています。当第2四半期連結累計期間の主な取り組みは以下の通りです。

- 欧米の心臓血管領域事業では、北米でTRI（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）の普及拡大に伴い、シースや造影用カテーテルなどの関連製品群が継続的に二桁成長を維持するとともに、欧州ではOFDI血管内画像診断システムが順調に導入施設数を伸ばしました。
- 血液システム事業の販路統合により、日本・アジアにおいて成分採血装置の導入が進んできました。
- ホスピタル事業では、34ゲージ（0.18mm）の世界で最も細い※ペン型注入器用ディスポーザブル注射針「ナノパスニードルⅡ」を国内の医療機関向けに発売開始しました。（※ 当社調べ）

当第2四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

（単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	190,718	191,832	0.6	3.3
売上総利益	103,177	100,548	△2.5	1.3
営業利益	34,632	28,208	△18.6	△10.0
経常利益	31,291	24,216	△22.6	—
四半期純利益	17,712	14,524	△18.0	—

<売上高>

売上高は、前年同期比0.6%増の1,918億円となりました。

地域別

(単位：百万円)

地 域	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
日 本	92,392	91,595	△0.9	△0.9
欧 州	36,525	34,380	△5.9	5.4
米 州	39,031	41,397	6.1	6.9
アジア他	22,768	24,459	7.4	10.6
海 外 計	98,326	100,237	1.9	7.2
合 計	190,718	191,832	0.6	3.3

国内では、心臓血管領域事業を中心に薬価公定価改定の影響を受け、前年同期比0.9%減の916億円となりました。一方、海外では、カテーテル事業が引き続き好調に推移したものの為替の影響を受け、海外売上高は前年同期比1.9%増の1,002億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、高収益品へのシフトによるプラス要因はあったものの、為替の影響や価格引下げの影響などを受け、前年同期比2.5%減の1,005億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、当初計画通りの成長投資を含む一般管理費と研究開発費の増加により、前年同期比18.6%減の282億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、円高進行による為替差損の影響を受けて前年同期比22.6%減の242億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、前年同期比18.0%減の145億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ホスピタル事業」、「心臓血管領域事業」、「血液システム事業」及び「ヘルスケア事業」の4区分から、「ヘルスケア事業」を「ホスピタル事業」に統合し、「心臓血管領域事業」及び「血液システム事業」の3区分に変更しております。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
ホスピタル事業	売上高	76,187	77,170	1.3	2.3
	(国内)	61,064	62,745	2.8	2.8
	(海外)	15,123	14,425	△4.6	0.7
心臓血管領域事業	売上高	79,237	80,356	1.4	4.8
	(国内)	25,653	22,838	△11.0	△11.0
	(海外)	53,583	57,517	7.3	12.3
血液システム事業	売上高	35,293	34,305	△2.8	2.0
	(国内)	5,674	6,010	5.9	5.9
	(海外)	29,618	28,294	△4.5	1.3

#### <ホスピタル事業>

国内では、慢性期市場向け製品である半固形栄養食品、ドラッグ&デバイス（D&D）事業における造影剤およびDM事業などが好調に推移し、前年同期比では増収となりました。

海外では、北米、中国、アジアなどの地域で現地通貨ベースでは売上を伸ばしたものの、為替の影響を大きく受けました。

その結果、ホスピタル事業の売上高は前年同期比1.3%増の772億円となりました。

#### <心臓血管領域事業>

国内では、公定価改定の影響や競合他社の新製品導入により、薬剤溶出型冠動脈ステント「Nobori」（ノボリ）の売上にも一定の影響が出ました。

海外では欧米などの主要市場において引き続きカテーテル事業が堅調に推移するとともに、中国でも高い成長率を維持しました。特に、TRI（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）の普及拡大に伴い北米ではTRI関連製品群が継続的に二桁成長を維持しています。

その結果、心臓血管領域事業の売上高は為替の影響を受けながらも前年同期比1.4%増の804億円となりました。

#### <血液システム事業>

国内、海外ともに第1四半期の特殊要因の影響が解消し、前年同期比では依然、減収が続くものの、減収幅を着実に縮小させました。血液システム事業の売上高は前年同期比2.8%減の343億円となりました。

### （2）連結財政状態に関する定性的情報

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ366億円減少して6,559億円となりました。

流動資産は203億円減少して2,366億円となりました。現金及び預金が158億円、受取手形及び売掛金が92億円減少となりました。

固定資産は163億円減少して4,193億円となりました。有形固定資産は18億円増加、無形固定資産は191億円減少、投資その他の資産は10億円増加となりました。

#### （負債）

負債の部は300億円減少して3,099億円となりました。

流動負債は543億円減少して1,037億円となりました。短期借入金が418億円減少しております。

固定負債は242億円増加して2,062億円となりました。長期借入金が268億円増加しております。

#### （純資産）

純資産の部は、65億円減少して3,460億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.8ポイント増加し、52.7%となりました。

### （3）連結業績予想に関する定性的情報

為替の動向や、医療機器市場を取り巻く環境変化など、今後も不透明な状況が続きますが、連結業績予想について変更はありません。

当社グループは、このような厳しい事業環境の中、目標を達成するため、医療経済性の向上に貢献できる高付加価値製品の導入、さらなる製造コストダウンへの取り組みや徹底した販管費の効率運用などに努めてまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の特定子会社であるギャンブロ，Inc.は、平成24年4月1日を効力発生日として、当社の子会社であるテルモBCT，Inc.に吸収合併されたことにより、消滅いたしました。これにより、ギャンブロ，Inc.は、当社の特定子会社に該当しなくなりました。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	78,767	62,958
受取手形及び売掛金	91,800	82,592
商品及び製品	44,044	46,313
仕掛品	6,629	7,473
原材料及び貯蔵品	18,606	20,232
繰延税金資産	9,707	9,760
デリバティブ債権	9	105
その他	8,543	8,167
貸倒引当金	△1,240	△1,027
流動資産合計	256,867	236,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,108	46,910
機械装置及び運搬具（純額）	38,431	42,002
土地	21,298	21,376
リース資産（純額）	1,447	1,491
建設仮勘定	15,243	13,174
その他（純額）	8,225	8,628
有形固定資産合計	131,754	133,584
無形固定資産		
のれん	138,809	127,835
顧客関連資産	83,758	76,914
その他	48,222	46,906
無形固定資産合計	270,790	251,656
投資その他の資産		
投資有価証券	20,387	20,793
繰延税金資産	6,996	7,382
その他	5,722	5,929
投資その他の資産合計	33,106	34,105
固定資産合計	435,652	419,346
繰延資産	—	18
資産合計	692,520	655,942



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,920	33,597
短期借入金	60,000	18,164
リース債務	423	447
未払法人税等	11,840	8,704
繰延税金負債	23	23
賞与引当金	5,048	4,865
役員賞与引当金	127	63
設備関係支払手形及び未払金	7,027	5,687
資産除去債務	840	420
その他	38,747	31,763
流動負債合計	157,997	103,736
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	50,000	76,772
リース債務	999	1,047
繰延税金負債	44,736	41,489
退職給付引当金	1,538	1,545
役員退職慰労引当金	202	198
資産除去債務	153	154
その他	4,354	5,001
固定負債合計	181,984	206,209
負債合計	339,982	309,946
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,103	52,103
利益剰余金	290,529	300,876
自己株式	△3	△6
株主資本合計	381,345	391,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51	581
繰延ヘッジ損益	1	4
為替換算調整勘定	△29,023	△46,535
その他の包括利益累計額合計	△29,073	△45,949
少数株主持分	264	255
純資産合計	352,537	345,995
負債純資産合計	692,520	655,942

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	190,718	191,832
売上原価	87,541	91,284
売上総利益	103,177	100,548
販売費及び一般管理費	68,544	72,340
営業利益	34,632	28,208
営業外収益		
受取利息	164	143
受取配当金	239	141
受取ロイヤリティー	67	55
持分法による投資利益	39	51
その他	575	455
営業外収益合計	1,087	847
営業外費用		
支払利息	352	615
売上割引	296	298
為替差損	2,988	2,597
たな卸資産処分損	472	74
その他	317	1,253
営業外費用合計	4,428	4,839
経常利益	31,291	24,216
特別利益		
固定資産売却益	14	46
災害損失戻入益	156	—
補助金収入	227	875
特別利益合計	398	921
特別損失		
固定資産処分損	52	255
投資有価証券評価損	1,112	—
ゴルフ会員権売却損	5	—
環境対策費	—	390
特別損失合計	1,170	646
税金等調整前四半期純利益	30,519	24,491
法人税、住民税及び事業税	13,747	11,019
法人税等調整額	△965	△1,070
法人税等合計	12,782	9,948
少数株主損益調整前四半期純利益	17,737	14,542
少数株主利益	24	18
四半期純利益	17,712	14,524

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,737	14,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	512	632
繰延ヘッジ損益	△3,610	2
為替換算調整勘定	△19,861	△17,539
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△2
その他の包括利益合計	△22,959	△16,906
四半期包括利益	△5,222	△2,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,202	△2,354
少数株主に係る四半期包括利益	△19	△9

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	76,187	79,237	35,293	190,718	—	190,718
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	76,187	79,237	35,293	190,718	—	190,718
セグメント利益	14,256	18,010	2,042	34,309	323	34,632

(注) 1. セグメント利益の調整額323百万円には、たな卸資産の調整額△1,113百万円、その他1,436百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	77,170	80,356	34,305	191,832	—	191,832
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	77,170	80,356	34,305	191,832	—	191,832
セグメント利益	11,993	12,549	833	25,376	2,831	28,208

(注) 1. セグメント利益の調整額2,831百万円には、たな卸資産の調整額1,085百万円、その他1,746百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ホスピタル事業」、「心臓血管領域事業」、「血液システム事業」及び「ヘルスケア事業」の4区分から、「ホスピタル事業」、「心臓血管領域事業」及び「血液システム事業」の3区分に変更しております。この変更は、ヘルスケア事業をホスピタル事業に統合し、高度化・複雑化する医療市場や健康意識の高まりに対応し、顧客特性を軸とした戦略立案とマネジメントを迅速かつ力強く実践することを目的とした会社組織の変更によるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。